

分野:器官系統病態学

主科目 副科目	血液腫瘍学 Hematology and oncology	区分	選択必修	授業形態	演習 (講義・実習含む)
------------	----------------------------------	----	------	------	-----------------

担当	教授	准教授	講師	助教	客員教授・その他
-					
ちば	◎長山 人三 (病院教授)				
溝口	◎佐藤 謙				吉田 稔 (客員教授)

	血液腫瘍学Ⅰ (1年次)				血液腫瘍学Ⅱ (2年次)				血液腫瘍学Ⅲ (3年次)			
	単位	4単位	配当年次	1年・通年	単位	4単位	配当年次	2年・通年	単位	4単位	配当年次	3年・通年
概 要	<p>幅広い年齢層の血液がん患者に対して、有効かつ安全に行うことができる抗がん剤治療を学ぶ。</p> <p>造血の仕組み、基本的な血液病理および病態生理に関する講義を行ったのち、以下の演習・実習を行う。</p> <p>1)末梢血標本を観察し所見を述べる実習 2)骨髄穿刺標本を観察し所見を述べる実習 3)骨髄穿刺実施に関する演習 1)～3)を修了後に骨髄穿刺に関する実習を行う。</p>				<p>造血幹細胞移植において、症例ごとの前処置ならびに幹細胞ソースの選択法を理解し実践する能力を身につける。</p> <p>血液疾患の診断(細胞表面マーカー、染色体異常、遺伝子マーカー等)、および治療に関する講義を行ったのち、以下の演習・実習を行う。</p> <p>1)診療録データを基に診断し治療法を決定する演習を行う。 2)実際に患者の担当医となり、診断・治療を提案する実習を行う。</p>				<p>通常の抗がん剤治療に加え、多様な造血幹細胞移植を行う能力を会得し、血液専門医の取得、次いで造血幹細胞移植認定医の取得準備を目標とする。</p> <p>造血幹細胞移植に関する講義を行ったのち、以下の演習・実習を行う。</p> <p>1)診療録データを基に造血幹細胞移植に関する適応および前処置決定に関する演習を行う。 2)実際に患者の担当医となり、移植適応および前処置法を提案する実習を行う。</p>			
到達目標	<p>1)末梢血細胞標本の所見を述べるができる。 2)骨髄穿刺標本の所見を述べるができる。 3)安全に骨髄穿刺を実施することができる。</p>				<p>1)担当する患者の診断と治療法を提案することができる。</p>				<p>1)骨髄破壊の前処置による造血幹細胞移植を実践することができる。 2)骨髄非破壊の前処置による造血幹細胞移植を実践することができる。 3)代替ドナーを用いた造血幹細胞移植を実践することができる。 4)適切な分子標的薬、抗体医薬を選択することができる。</p>			
事前事後学修	<p>1)次回講義の対象となる疾患を予習する。 2)血液細胞アトラスを熟読する。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>1)演習・実習の対象となる症例の疾患について予習する。 2)毎日担当する患者の診察・検査結果確認を行い、オーダの提案を行う。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>				<p>1)代替ドナー移植に関する予習 2)HLA不適合移植に関する予習 3)分子標的薬、抗体医薬に関する予習 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。</p>			
評価方法	<p>受講態度(発表、課題提出等) 20% レポート 80%</p>				<p>受講態度(発表、課題提出等) 20% 診療能力 60% 診断・治療に関する知識 20%</p>				<p>受講態度(発表、課題提出等) 20% 診療能力 60% 診断・治療に関する知識 20%</p>			

■主な演習(講義・実習含む)

	血液腫瘍学Ⅰ (1年次)	血液腫瘍学Ⅱ (2年次)	血液腫瘍学Ⅲ (3年次)
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :	曜日 : ~ :
ちば	月 曜日 15 : 00 ~ 15 : 30 血液腫瘍学概論	月 曜日 15 : 00 ~ 15 : 30 造血幹細胞移植概論	月 曜日 15 : 00 ~ 15 : 30 代替ドナー移植概論
	月 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 骨髄穿刺実習	月 曜日 10 : 00 ~ 11 : 30 診療実習	月 曜日 10 : 00 ~ 11 : 30 診療実習
	水 曜日 10 : 00 ~ 11 : 00 末梢血・骨髄標本観察演習	月 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 診療演習	月 曜日 15 : 30 ~ 17 : 00 診療演習
	火 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 入院症例検討	火 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 入院症例検討	火 曜日 16 : 00 ~ 17 : 00 入院症例検討
溝口	火 曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 骨髄穿刺および骨髄生検	火 曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 骨髄穿刺および骨髄生検	火 曜日 15 : 00 ~ 16 : 00 骨髄穿刺および骨髄生検
	火 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 内科症例カンファ	火 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 内科症例カンファ	火 曜日 13 : 00 ~ 14 : 00 内科症例カンファ

教科書・参考書

Wintrobe's Clinical Hematology、血液細胞アトラス

その他履修上の注意事項

進捗状況が優れている場合は、国内外の研究施設に留学が認められる。
試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

関連科目	副科目	がん医療経済学
	共通科目	血液内科学特論

関連する専門医資格

血液専門医、造血細胞移植認定医

キャリアパス(モデルコース)

